

ようこそ尼崎市へ、アウクスブルク市民団の来訪

平成21年は、姉妹都市提携50周年を記念して、アウクスブルク市から多くのお客様が尼崎市を訪問されました。その最初のお客様は、アウクスブルク・シュヴァーベン独立協会の市民団21名でした。市民団は、4月11日から4月22日までの行程で日本各地を旅行し、そのハイライトとして、帰国前日の4月21日に尼崎市を訪問しました。

寺町訪問

はじめに、市民団一行は寺町を訪問しました。本興寺、長遠寺などを見学し、ボランティア・ガイドの丁寧な解説に熱心に耳を傾けていました。アウクスブルク市とは趣きが異なる町並みに、市民団の皆さんは興味深そうに見学していました。



ボランティアガイドの説明を熱心に聞く市民団

文化財収蔵庫の見学

昼食後は平成21年4月9日にオープンしたばかりの尼崎市立文化財収蔵庫を訪れました。到着時には、文化財収蔵庫の職員や市民の方々が歓迎の拍手で出迎えました。

文化財収蔵庫は、旧城内中学校を再利用していることもあり、見学の中で、日本の学校の雰囲気も合わせて体感しました。見学の最後は、昔の糸作りを体験する教室を覗かれ、一般の方々と触れ合いながら、充実した時間を過ごしていました。



糸作りの説明を受ける市民団

尼崎市表敬訪問

文化財収蔵庫見学後は、尼崎市を表敬訪問しました。市民団からは、記念品としてブッペンキステの操り人形が贈られました。



ブッペンキステの操り人形と一緒に記念写真

一方、尼崎市からは、記念品として市民団の皆さんの名前を入れた木製の盾(障害者作業所ぐろーりあ製作)を贈りました。この盾には高校生連絡会議HLC(ハルカ)提供の姉妹都市提携50周年記念ロゴとキャラクターが彫り込まれています。



ドイツ製つや出しオイルが使われています。

つかしん見学

表敬訪問後は「つかしん」を見学しました。「つかしん」

は、外観や内装等にアウクスブルク市の町並みを再現しており、2階にはアウクスブルク市紹介コーナーもあります。また、館内の至る所にアウクスブルク市章の「松ぼっくり」の図柄が描かれています。市民団の皆さんは館内を見学した後、思い思いのお土産を購入するなど、楽しい時間を過ごしていました。



つかしんで集合写真

市民交流会

その日の夜は、市民団を歓迎する市民交流会が開催されました。市民交流会では、市民団21名を含め、総勢86名の参加者が姉妹都市提携50周年を一緒に祝いました。



参加者全員での記念写真(ホテルホップイン・アミンにて)

歓迎の演目では、尼崎市立武庫公民館で毎月3回活動しているフォークダンスグループ「ダンシングフレンズ」の皆さんが、ドイツのフォークダンスを披露しました。また、最後は参加者全員が輪になってフォークダンスを踊り、盛況となりました。市民団の皆さんも尼崎市民のもてなしの心に深く感銘を受けた様子でした。



フォークダンスを楽しむ参加者

アウクスブルク・シュヴァーベン独日協会 市民団名簿

【団長】

トーマス・ヴァツェック (Thomas Watzek)

【団員】

エゴン・ベッコルト (Egon Beckord)

エファ・ベッコルト (Eva Beckord)

ジョセフィーネ・フックスロッヒャー (Josefine Fuchslocher)

ペーター・フックスロッヒャー (Peter Fuchslocher)

Dr. ウルリヒ・グラウ (Dr. Ulrich Grau)

エルナ・グロースホイザー (Erna Großhauser)

ボード・フメル (Bodo Hummel)

ヘルガ・フメル (Helga Hummel)

ハンネローレ・ケーニヒ (Hannelore König)

ヨーゼフ・レベーレ (Josef Leberle)

マリアンネ・レベーレ (Marianne Leberle)

クラウディア・レーア (Claudia Löhr)

マーガレータ・レーア (Margaretha Löhr)

ヴェアナー・レーア (Werner Löhr)

ゲアハルト・ショルツ (Gerhard Scholz)

ジョセフィーネ・ショルツ (Josefine Scholz)

ヘルガ・セル (Helga Sell)

イーナ・セル (Ina Sell)

ヘアマン・ヴァイザー (Hermann Weisser)

レナーテ・ヴェンガー (Renate Wenger)